

平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社ピクセラ 上場取引所 東
 コード番号 6731 URL http://www.pixela.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 藤岡 浩
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名) 池本 敬太 (TEL)06(6633)3500
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	4,836	△61.1	△303	—	△342	—	△373	—
23年9月期第3四半期	12,424	42.7	579	75.0	550	109.9	453	64.0

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 △371百万円(—%) 23年9月期第3四半期 447百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	△34 25	—
23年9月期第3四半期	41 56	40 96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第3四半期	2,292	456	19.7
23年9月期	4,525	828	18.2

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 451百万円 23年9月期 823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0 00	—	0 00	0 00
24年9月期	—	0 00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,330	△59.7	△267	—	△318	—	△315	—	△28 86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規一社、除外一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年9月期3Q	11,034,100株	23年9月期	11,034,100株
24年9月期3Q	118,712株	23年9月期	118,712株
24年9月期3Q	10,915,388株	23年9月期3Q	10,915,428株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予測に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	2
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
（3）継続企業の前提に関する注記	9
（4）セグメント情報等	9
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災により停滞していた経済活動が回復しつつあるものの、欧州諸国の債務問題の長期化により、先行きに対する不透明感が強まっております。

このような状況下、当社グループは、アンテナ端子のない部屋でも無線LAN機能を利用してモバイル端末でテレビ視聴ができるデジタルチューナーやスマートフォン向けワンセグソフト等の開発に注力いたしました。しかしながら、テレビ販売の低迷やパソコン出荷の鈍化等の落ち込みを補うことができず、厳しい状況が続きました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は48億36百万円（前年同四半期比61.1%減）、営業損失3億3百万円（前年同四半期は営業利益5億79百万円）、経常損失3億42百万円（前年同四半期は経常利益5億50百万円）、四半期純損失3億73百万円（前年同四半期は四半期純利益4億53百万円）となりました。

セグメント別の業績の概況は以下のとおりであります。

〔ホームAV事業〕

液晶テレビは、地デジ移行後の需要の低下と販売単価の下落により大幅な減収となりました。一方、デジタルチューナーは、スマートフォン・タブレット端末向けのワイヤレスTVチューナーの販売が増加し、録画機能が付いた新機種も出足好調に推移したことにより増収となりました。またモバイル関連では、スマートフォン向けワンセグソフトの搭載機種が拡大し、受託開発収入およびロイヤルティ収入が増加いたしました。

この結果、当事業の売上高は29億22百万円（前年同四半期比70.4%減）、セグメント損失（営業損失）は81百万円（前年同四半期は営業利益8億37百万円）となりました。

〔パソコン関連事業〕

パソコン向けテレビキャプチャーのOEM販売およびそれに伴うロイヤルティ収入は、地上デジタルチューナー内蔵パソコンの出荷台数が伸び悩んだため減収となりましたが、受託開発の増加や開発コストの低減により増益を確保いたしました。

この結果、当事業の売上高は13億94百万円（前年同四半期比28.5%減）、セグメント利益（営業利益）は2億29百万円（前年同四半期比36.4%増）となりました。

〔AVソフトウェア事業〕

デジタルカメラやデジタルビデオカメラの出荷台数は、タイの洪水の影響から回復傾向にあるものの弱含みで推移し、これらに同梱される映像編集アプリケーションに関する受託開発収入およびロイヤルティ収入が減少いたしました。

この結果、当事業の売上高は1億98百万円（前年同四半期比29.4%減）、セグメント利益（営業利益）は74百万円（前年同四半期比18.1%減）となりました。

〔その他〕

主に光触媒機能性塗料の開発・製造・販売を行っております。

その他の売上高は3億22百万円（前年同四半期比4.5%増）、セグメント損失（営業損失）は13百万円（前年同四半期は営業利益12百万円）となりました。

（注）各セグメントのセグメント利益（営業利益）又はセグメント損失（営業損失）は、「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用5億12百万円を配分する前の金額であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度に比べ22億32百万円減少し、22億92百万円となりました。これは主に、現金及び預金が8億29百万円、受取手形及び売掛金が14億69百万円減少したことによるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度に比べ18億60百万円減少し、18億36百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が17億28百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度に比べ3億71百万円減少し、4億56百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が3億73百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想は「業績予想の修正に関するお知らせ」（平成24年8月8日公表）において変更しております。

なお、当該予想に関する詳細は、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。現時点における平成24年9月期の連結業績予想は、次のとおりです。

《連結業績見通し》

売上高	63億30百万円	（前期は157億10百万円）
営業利益又は営業損失(△)	△2億67百万円	（前期は 4億93百万円）
経常利益又は経常損失(△)	△3億18百万円	（前期は 4億95百万円）
当期純利益又は当期純損失(△)	△3億15百万円	（前期は 4億25百万円）

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は平成23年12月、連結子会社である㈱RFStreamの株式を追加取得し、完全子会社といたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,056,124	226,817
受取手形及び売掛金	2,349,399	879,579
商品及び製品	298,488	458,305
仕掛品	14,772	6,929
原材料及び貯蔵品	83,003	68,699
繰延税金資産	29,571	—
その他	72,373	63,998
貸倒引当金	△19,149	△13,929
流動資産合計	3,884,584	1,690,399
固定資産		
有形固定資産	173,752	144,939
無形固定資産		
ソフトウェア	24,471	18,889
電話加入権	817	817
無形固定資産合計	25,289	19,707
投資その他の資産		
投資有価証券	111,285	101,199
営業保証金	231,988	239,998
保険積立金	3,984	4,120
敷金	85,468	85,468
その他	8,686	7,009
貸倒引当金	△26	—
投資その他の資産合計	441,387	437,796
固定資産合計	640,429	602,443
資産合計	4,525,014	2,292,842
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,395,242	666,987
短期借入金	219,100	140,900
1年内返済予定の長期借入金	88,206	158,351
未払金	156,028	62,678
未払費用	376,119	360,650
未払法人税等	19,705	8,157
賞与引当金	93,311	28,760
その他	106,164	14,699
流動負債合計	3,453,876	1,441,185
固定負債		
長期借入金	197,347	351,688
資産除去債務	29,877	30,115
繰延税金負債	14,366	12,286
長期預り保証金	1,000	1,000
固定負債合計	242,590	395,090
負債合計	3,696,467	1,836,275

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,562,389	1,101,290
資本剰余金	3,218,618	—
利益剰余金	△4,790,352	△484,531
自己株式	△125,038	△125,038
株主資本合計	865,617	491,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△41,694	△39,777
その他の包括利益累計額合計	△41,694	△39,777
新株予約権	4,624	4,624
純資産合計	828,546	456,567
負債純資産合計	4,525,014	2,292,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	12,424,437	4,836,959
売上原価	10,751,625	4,033,924
売上総利益	1,672,812	803,034
販売費及び一般管理費	1,093,477	1,106,762
営業利益又は営業損失(△)	579,334	△303,727
営業外収益		
受取利息	68	63
受取配当金	71	72
保険返戻金	45	—
雑収入	7	1,227
営業外収益合計	192	1,363
営業外費用		
支払利息	8,354	11,790
支払手数料	12,189	11,463
為替差損	2,923	9,077
その他	5,589	7,518
営業外費用合計	29,056	39,849
経常利益又は経常損失(△)	550,470	△342,213
特別利益		
賞与引当金戻入額	—	1,280
固定資産売却益	—	323
特別利益合計	—	1,604
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	23,733	—
減損損失	9,050	—
特別損失合計	32,784	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	517,685	△340,609
法人税、住民税及び事業税	5,821	5,814
法人税等調整額	58,184	27,472
法人税等合計	64,005	33,286
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	453,680	△373,896
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	453,680	△373,896

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	453,680	△373,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,151	1,916
その他の包括利益合計	△6,151	1,916
四半期包括利益	447,528	△371,979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	447,528	△371,979
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホームAV 事業	パソコン関連 事業	AVソフトウ エア事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,884,695	1,950,686	280,586	12,115,968	308,468	12,424,437
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,884,695	1,950,686	280,586	12,115,968	308,468	12,434,437
セグメント利益	837,821	168,501	91,314	1,097,637	12,019	1,109,657

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、光触媒機能性塗料事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,097,637
「その他」の区分の利益	12,019
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△530,323
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	579,334

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎研究費等であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホームAV 事業	パソコン関連 事業	AVソフトウ エア事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,922,175	1,394,192	198,107	4,514,475	322,484	4,836,959
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,922,175	1,394,192	198,107	4,514,475	322,484	4,836,959
セグメント利益又は損失 (△)	△81,742	229,824	74,793	222,875	△13,727	209,148

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、光触媒機能性塗料事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	222,875
「その他」の区分の損失(△)	△13,727
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△512,876
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△303,727

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎研究費等であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年12月22日開催の定時株主総会において、繰越欠損の一掃及び資本構成の是正を目的とする無償減資について決議しました。この結果、第2四半期連結会計期間において資本金が1,461,098千円、資本剰余金が3,218,618千円減少し、この減少額4,679,717千円と同額の利益剰余金が増加しております。

これらにより、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,101,290千円、資本剰余金が一千円となっております。